

梓書院 新刊のお知らせ



よもやま邪馬台国

邪馬台国からはじめる教養としての古代史入門

豊田滋通・著 四六判・並製・324頁・1,800円+税
ISBN 978-4-87035-770-9

東京新聞・中日新聞での全115回の
連載に大幅加筆して待望の書籍化!

本居宣長、新井白石らから300年以上続く 邪馬台国論争の魔力とは——?

古代日本史において、いまだ謎多き「邪馬台国」。それがあったとされる場所については畿内(近畿)説と九州説を中心に数十箇所以上もの比定地があり、百家争鳴の観がある。しかし、どの候補地も「決定打」となる物証を欠き、そのことがまた論争をエスカレートさせ今日まで古代史ファンを熱くさせている。

本書は、特定の説に偏るのは避け、何につけても「諸説あり」の邪馬台国ワールドを、ありのままに楽しんでいただくことを念頭に取材・執筆された一冊。本文中には、さまざまな説を唱える学者や在野の研究者らが登場する他、邪馬台国をめぐる「よもやま話」というタイトルの通り、取り扱う時代の幅も少し広げ、どこまでが史実か判別し難い伝承や地元に残る伝説なども取り上げる。

卑弥呼探訪の旅を通じて見えてくる、古代日本の実像。 古代史がわかれば歴史はもっと面白い!

【著者】豊田 滋通(とよた・しげみち)

1953年、福岡市生まれ。九州大学文学部卒業。
1975年、九州のブロック紙・西日本新聞社(本社・福岡市)に入社。本社、東京支社などで主に行政・政治分野を担当。編集企画委員長、東京支社編集長、論説委員長、監査役などを歴任。
2018年から雑誌「季刊邪馬台国」を発行する福岡市の出版社・(株)梓書院のエグゼクティブアドバイザー/ライター。
福岡市博物館協議会委員、日本メディア学会(旧・日本マス・コミュニケーション学会)会員。

6/20
発売!!

【目次】

- 書籍版発刊に当たって
プロローグ 教科書を読み直す
- 第1章 巫女王の墓
 - 第2章 「卑弥呼の墓」に行く
 - 第3章 「卑弥呼」に会いに行く
 - 第4章 青銅器の鋳型
 - 第5章 卑弥呼の鏡
 - 第6章 北ツ海のクニグニ
 - 第7章 金印の島へ
 - 第8章 交流する海人
 - 第9章 ツクシとヤマト
- エピローグ 「邪馬台国ワールド」への旅

梓書院 (貴店番線)	注文	ご担当	ISBN 978-4-87035-770-9 C0021
	冊	様	よもやま邪馬台国 邪馬台国からはじめる教養としての古代史入門
			定価:1,980円(本体価格:1,800円+税)
		豊田 滋道・著	福岡市博多区千代 3-2-1 (tel)092-643-7075

注文扱い
配本は行って
おりません

日販
トーハン
きんぶん図書
楽天BN(ト
ーハン経由)

にてお取り扱い
致しております。